

「ジャズ・文学・アート」小野原教子 2015, 12, 19  
(芦屋高校オープンカレッジ「ジャズ文化と出会おう！」@あしかび会館)

あいさつ

問題提起：ジャズとは何かという素朴にして困難な問い

「名辞以前の世界、「概念」などのまったく容喙できない世界、その世界への「間断なき恋慕」」（奥成達『宮澤賢治、ジャズと出会う』（2009））

「言葉の世界を越境し跳躍していくエネルギー（音、波動）」

六人のアーティスト（ケネス・レクスロス、北園克衛、白石かずこ、奥成達、山下洋輔、西松布咏）を通して、その展開を試みる

#### #1 はじめてジャズ音楽と詩の朗読を行った闘う詩人ケネス・レクスロス（1905-1982）

資料1 「不死鳥と龜」（ケネス・レクスロス）（訳：北園克衛『gui』vol.83（2008）-『詩学』4 /vol.1（1949））

資料2 One Hundred Poems from the Japanese

CD: 「あなた」『摩利支子の愛の歌』レクスロス英訳、片桐ユズル訳（演奏：西松布咏）（2005）  
『ケネス・レクスロス中心の現代対抗文化』（田口哲也）（2015）

#### #2 様々なジャンルを越境し抜群のデザインセンスを持つモダニスト詩人北園克衛（1902-1978）

DVD: 國峰照子「きたそのかつえに」北園克衛生誕百年記念コンサート（新宿Pit Inn 2002）

DVD: 資料5 「黒い肖像」（『黒い火』（北園克衛）（1951）（『夢』演奏：西松布咏 舞踊：大野慶人）（2008）

#### #3 北園に見出されデビュー後ジャズとエネルギーに朗読女神詩人白石かずこ（1931-）

CD: 資料4 「卵のふる街」と「ヒト科の熊」（4分）（『ヒト科の熊』（白石かずこ、演奏：沖至、翠川敬基）（2003））

#### #4 北園克衛とモダンジャズとナンセンスを愛するトランペッター詩人奥成達（1942-2015）

DVD: 資料6-7 「帽子の海」『帽子の海』（奥成達）（w 坂田明トリオ）（新宿Pit Inn 1988）

#### #5 戦後ジャズ最大の実験家の一人で日本即興音楽の神様ピアニスト山下洋輔（1942-）

『もけらもけら』（元永定正と共に）（1990）

DVD: 「図形説」北園克衛生誕百年記念コンサート（新宿Pit Inn 2002）

CD: 資料4 「Haiku」『SAKURA』（山下洋輔 /w Cecil McBee, Pheeloan akLaff）（1990）

#### #6 邦楽に重心を置きつつ現代詩・舞踊・写真などとコラボ三味線奏者西松布咏

まとめにかえて

DVD: 資料4 「嘘のかたまり」（『夢』（作詞曲不肖、演奏：西松布咏、映像詩：小野原教子）

詩とアートとジャズ@ジャズ文化と出会おう！  
小野原教子 2015.12.19

ジャズとは何かという素朴にして困難な問い合わせからスタート

スウィングと即興演奏（インプロヴィゼイション）

スウィング＝シンコペーション（強・弱によって生み出される、ジャズの場合変則的）  
名詞以前の世界、「概念」などのまったく容喙できない世界、その世界への「間断なき恋慕」（中原中也による宮沢賢治を引きジャズのメタファーとした奥成達）世界＝エネルギー（小野原）

言葉の世界を越境し跳躍していくエネルギー（音、波動）を六人のアーティスト（ケネス・レクスロス、北園克衛、白石かずこ、奥成達、山下洋輔、西松布咏）を通して試みる。

はじめてジャズ音楽と詩の朗読を行った闘う詩人ケネス・レクスロス

様々なジャンルを越境し抜群のデザインセンスを持つモダニスト詩人北園克衛

北園に見出されデビュー後ジャズとエネルギーに朗読女神詩人白石かずこ

北園克衛とモダンジャズとナンセンスを愛するトランペッター詩人奥成達

戦後ジャズ最大の実験家の一人で日本即興音楽の神様ピアニスト山下洋輔

邦楽に重心を置きつつ現代詩・舞踊・写真などとコラボ三味線奏者西松布咏

スルヒ

「黒い火と亀」（ケネス・レクスロス）（訳：北園克衛『gui』vol.83（2008）—『詩学』4 / vol.1 (1949)）\*

1-2

『ケネス・レクスロス中心の現代対抗文化』（田口哲也）(2015)

「摩利支子の愛の歌」レクスロス英訳 「あなた」「朝の露」「夢」（演奏：西松布咏）(2005)

『黒い羊の物語』（白石かずこ）(1996)

『ヒト科の熊』（白石かずこ、演奏：沖至、翠川敬基）(2003) 4

『宮澤賢治、ジャズに出会う』（奥成達）(2009)

「嘘のかたまり」「偽」（作詞曲不肖、演奏：西松布咏、映像詩：小野原教子）(2008) 4

「黒い肖像」（『黒い火』（北園克衛）(1951)『偽』演奏：西松布咏 舞踊：大野慶人）(2008)\* 4, 5

「帽子の海」「帽子の海」（奥成達）（演奏：BUS/w 坂田明トリオ）(1998)\* 6-7

「SAKURA」「SAKURA」（山下洋輔 /w Cecil McBee, Pheeloan akLaff）(1990) 4

\* \* \* \*

「嘘について」詩集『耳から董』(2003) \* 8

「蝶の数え方」詩誌『gui』(2015) Comment compter les papillons 訳Olivier Péllison \*

「トツゼンとの突然の…」(白石かづこの詩「トツゼンの」(『花椿』1972 no.261) \* 9  
とのほぼ即興詩セッション)

Comment compter les papillons (2015)

Noriko Onohara (translation: Olivier Péllison)

Cristalliser la menthe

Le désir d'un toit d'appartement

Comme des glaçons

Pour être envelopper par un dragon et un serpent

Aline-les

Unis ensemble psychologiquement

Unis-les avec un ruban

Le cœur des randonneurs inconnus

A la station du téléphérique

Un couple de papillons bleus flotte

Cherchant le chemin le plus court

Formant un triangle noir éternel

Grimpant les collines

Un homme et un nom deviennent

Pour échouer à le trouver, stop.

Un corps transformé en statue, à la fin.

小野原教子(おのはら・のりこ):大阪で生まれ育ち、これまで京都やロンドンに居住、旭化成で纖維マーケティングの経験有り、現在は神戸で英語を教えつつ詩作と服飾文化研究。単著『闘う衣服』(水声社、2011年)では、ファッション雑誌の研究、ヴィヴィアン・ウェストウッド論、女子プロレスのコスチューム論、ゴシックロリータの分析を展開。詩集に『表面張力』(思潮社 2000年)『耳から董』(highmoonoon, 2003)『刺繡の呼吸』(深夜叢書社 2009年)がある。2001年に神戸商科大学専任講師となり、2004年に京都大学大学院人間・環境学研究科より博士号を取得、2005-6年ロンドン大学UCL名誉研究員、2009-10年ヴィクトリア&アルバート博物館客員研究員を経て、現職は兵庫県立大学経営学部准教授。これまで武庫川女子大学、神戸芸術工科大学、大阪大学で非常勤講師、現在は大阪市立大学でも服飾文化論を出講中。西洋かぶれながら、毎朝暁天坐禅とお薄茶を、時々四半的弓道、現在着物スタイルと三味線音楽に夢中。

# 蝶の数え方

小野原教子

薄荷を結晶させて  
つららのようにし  
一本一本と並べる  
緑のリボンで結ぶ

ロープウェイの乗り場まで  
坂道を上つて近道をさがす  
地図の中の道は切れている  
森が剥き出しになり行止まり

龍か蛇の尾で巻かれたい  
和風の屋根の洋館の欲望  
かたまって心よせあつて  
まわり道する人気もなく

カップルのアゲハのブルー  
三角関係の戯れた漆黒の翅  
人と名前は体になりやがて柱  
騒きながら高く舞いながら頭

右メジャーレ  
Comment compter les papillons  
(2015)

の原詩です、

詩誌『gumi』(2015) より